

事例 16

# 豆記者壁新聞づくり

## 背景

市町村で実施している社会資本整備と、県や国単位の大規模なインフラ整備とを、タイムリーに組み合わせ、工事現場の見学会(取材)を実施しました。  
 子供たちが、自分の住んでいる地域で行われている事業を身近に感じ、「記者の目」を通して積極的に理解しようとするのは、公共事業の果たす役割を知り、その意味や重要性などを客観的に見つめ直す、貴重な機会となります。

## 内容

酒田工事事務所では、山形県庄内地方の2市3町1村の25校の小学校児童が参加して、国土交通省直轄事業のほか、上下水道事業や土地区画整備事業などの理解を深めてもらうため、現場見学会を実施しました。  
 見学会では、小学生自らが豆記者となり、自ら取材し、壁新聞の記事づくりに取り組みました。  
 現地取材後は、取材時の写真やメモ、資料をもとに、グループごとにオリジナリティに富んだ壁新聞を作成しました。



熱心に取材する「豆記者」たち



豆記者、引率・指導の先生みんなで記念にパチリ



普段は見学できないところばかり

## ポイント

- 地元新聞社の協力により、取材方法や壁新聞作成にあたってのアドバイスをいただき、自ら学び、まとめる力を高めました。
- 現場の選定には、身近な市町村の事業から県・国の大規模な事業まで、幅広く組み合わせ、公共事業の理解を深めました。
- 新聞の作成にあたり、第3者に伝えるための復習や自らの考えをまとめるなど、押しつけではない自主的な復習型の総合学習を行いました。

## DATA

場 所：山形県遊佐町・酒田市・鶴岡市・温海町・余目町・朝日村  
 実 施 者：酒田工事事務所 地域づくり相談室 [TEL (0234) 27-3331]  
 参 加 者：遊佐町、酒田市、鶴岡市、温海町、余目町、朝日村の小学校25校  
 3～6年生 202名、先生 42名  
 実 施 日：平成11年7月13日・8月5日・10月21日・11月5日・8日・26日  
 学 習 時 間：2～4時間

## 関係する分野



## 成果

公共事業が社会に果たす役割や、自分たちの暮らしと関わりなどを、児童自らの目で理解していただきました。また、取材した内容を、自分たちの考えを取り込みながら的確に文章にまとめるなど、「自らが学ぶ力」「自らが考える力」「自らがまとめる力」の向上へ支援ができました。  
 取材後、作成した壁新聞は、コンクールで表彰した他、学校、市町村ロビー、道の駅などで展示し、かつ「豆記者壁新聞作品集」として冊子にまとめ配布、ホームページで掲載するなど、広く一般への広報を積極的に行いました。見学会、壁新聞とも地元新聞に掲載されるなど、大きな反響がありました。

## 参加者の声

「取材して思ったことは、どのしせつも、自然や町、人にやさしい作りになっていたということ。そして、たくさんの人たちが努力して豊かな町・酒田を作ろうとしていたことでした。」  
 (酒田市立亀城小学校 6年生)

「わたしたちの知らない仕事をする人たちの世界があった。スゴイ大へんな仕事だ!!」  
 (朝日村立朝日小学校 4年生)

「いままで、ファックス新聞は、書いていたけど、かべ新聞はむずかしかった。しかし、みんなが一人一人がんばってなんとかせいこうさせました。ぜひ読んでください。」  
 (温海町立福栄小学校 3年生)



「朝三新聞」  
鶴岡市立朝陽第三小学校作品



31枚の壁新聞は「豆記者壁新聞作品集」として冊子に



山形新聞社 平成11年10月22日掲載



山形新聞社 平成11年11月10日掲載

## 次のステップに向けて

- 道路改良や河川改修などの大きな事業が、地域にもたらす影響を考え、地域づくりへどう活かされていくべきか学習することも考えられます。
- 環境問題が重要視されている現在、自然環境に目を向けた事業について学習することも考えられます。